

日本語版

True Peace

Vol. 55

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一国 13年

天曆 2月

2025年 陽曆 3月



巻頭言

真の父母様のみ言

真の父母様の動静

特集

世界宣教ニュース

真のお母様と一つとなり、純白、純潔、純金となろう

戦争と葛藤のない平和世界を祝願

天一国指導者特別朝会 真のお母様、「天務院と一つになって進むこと」を強調

2025国際宗教自由サミット / 神日本高崎教会特別礼拝

第1期神韓国神トップガン宣教師解団式統一家の宣教精神を受け継ぎ、責任を果たすことを決意



真のお母様と一つとなり、純白、純潔、純金となろう

堀正一 / アジア太平洋大陸会長



天の父母様と真のお母様が、待ちに待った一日が、ついに訪れます。真のお母様が、聖婚の時に心深く決意された誓いを私たちは知っています。また、天の前に誓われた全ての約束を果たし、天の父母様の太初の夢を実現するために、真のお母様がどれほど多くの犠牲と、どれほど果てしない道のりを歩んでこられたことでしょうか。

この年初に、真のお母様は、「Holy Mother Han に侍る〇〇」という新しい祈祷の領域を私たちに開いてくださいました。私たちが天の働き人として入宮式に備えなければならないことは沢山ありますが、本当に必要なのは、真のお母様と一つになる、

その事のみです。

クリスチャンは、イエスキリストの名で祈りを捧げます。今は誰も何の疑問も抱きませんが、2000 年前、この新しい方式での祈りが始まった時には、これはそれ以前には想像も出来なかったコペルニクス的な信仰観の転換であり、大いなる信仰告白であったはずで

す。イエスの名による祈りは、十字架の試練によって試されました。ゲッセマネで祈りの基台は築かれず、弟子たちは逃げ去るか、十字架を遠くから見守る事しかできませんでした。しかし、彼らはのちに復活したイエスと出会い、ペンテコステによって聖霊役事を体験しました。その実体験は、絶対的な信仰の礎石となり生まれ変わることで、迫害をものともせず、絶望の中でも勇気を得て祈り続け、地の果てまで宣教してゆくようになりました。このように主イエスの名で祈るキリスト教時代が開かれたのです。

それから 2000 年が経過し、私たちは、真の父母の名で祈り、祝福中心家庭の名で祈る段階を既に経験してきました。ところが残念ながら、聖和に動揺した私たちの状況は、ゲッセマネの三弟子の状態とそれほど違いがありませんでした。私たちの心は、自分でも気づかないうちに、中心霊と自分自身が作り出した想念に縛られて、霊的にも心情的にも、閉ざされてしまい、頑なになってしまっていたのです。それはまさしく、砂漠の砂のような存在となり、真のお母様を囲む砂嵐とは、まさしく私たちの姿であったのです。

私たちは、聖和以降の真のお母様の路程が、いかに内外の困難に満ちたものであったのかを知っています。真のお母様は、ご自身が独り娘であると証される前に、神様を天の父母様として正しく証されました。また、荒野時代の砂塵の中に隠されてきた多くの天の秘密を解き明かすにあたって、摂理歴史の真実を、順を追って段階的に明かしてくださいました。まさしく、実体聖霊であられ、平和の母、宇宙の母として、想像を絶する愛で全てを包み、耐え忍び、全てに勝利を収められたのです。

天苑宮天一聖殿の入宮の栄光を前にして、私たちは、真のお母様の真実の尊厳を理解しないままに多くの時間を浪費したことを深く悔改める立場にあります。もう二度と悔い改める必要が無いように、真のお母様の御指導の通りに、全てを下ろして純白・純潔・純金となつてまいりましょう。私たちは独り娘、真のお母様の偉大なる栄光を証する歴史の証人とならねばなりません。私たちは、真のお母様と一つになることによってのみ、天一聖殿を起点とした天一国の実体圏拡大時代に入っていくことができます。新しい祈りは、「Holy Mother Han」が私たちのワンオンマであり、私たちがその方の直系子女であることを示す、新しい時代の ID であります。

この素晴らしい恩恵の時を前に、神アジア太平洋でも、どのように貢献できるかを最後まで追及している所です。この度、神統一韓国の起点である加平郡復帰のために、フィリピンアンティポロ市と加平郡を姉妹都市結縁する合意が出来ました。加平郡が、韓国の中だけでなく、世界との交流の中で輝く形を作ること

に貢献できることを、心から感謝いたします。コロナ以降、アジア諸国の現場は多くの困難を経験しました。まだ現在形で迫害が続いている国もあります。しかし、HTG の素晴らしい宣教師たちの涙と精誠で、新しい伝道の芽が成長しています。それはまさに、冬の氷の中に咲く水仙のように美しいです。「Holy Mother Han」に直接侍るモデルである文信出・信興宣教師の世界巡礼を鮮やかな花びらで彩る神アジアとなるように、さらに精誠を尽くして歩みます。ありがとうございました。🌸

CONTENTS



巻頭言

- 02** 真のお母様と一つとなり、
純白、純潔、純金となろう
堀正一 / アジア太平洋大陸会長

特集

- 09** 2025国際宗教自由サミット、
ワシントンDCで盛況裏に開催
ヴァンス米副大統領「トランプ
第2期目には宗教迫害に対抗する」
と強調
- 12** 神日本 群馬教区 高崎教会 特別礼
拝及び孝情談会

世界宣教ニュース

神韓国

- 17** 第1期神韓国神トップガン宣教師
解団式 統一家の宣教精神を受け継
ぎ、責任を果たすことを決意
- 18** 神韓国家庭連合牧会者オンライン
総会 天苑宮・天一聖殿入宮の実体的
な勝利への決意
- 19** 神韓国家庭連合、成和総会開催
中・高等部1200人の聖地巡礼・公演
大盛況
- 20** 神韓国教区二世会長任命状授与式
および孝情談会
真の家庭3代圏安着と世代間協力
強化の時代的使命の認識
- 21** 2025孝情文化芸術
ユースキャンプ閉会式
第1回孝情天心天寶霊性モシム40

真の父母様のみ言

- 04** 神様はなぜ人間を創造されたのか？
- 06** 戦争と葛藤のない平和世界を祝願

真の父母様の動静

- 08** 天一国指導者特別朝会 真のお母様、
「天務院と一つになって進むこと」
を強調

日修練会開会式

- 22** 天苑宮・天一聖殿入宮式勝利のための
韓国キリスト教聖職者協議会
祈祷会および超宗教祈祷会
2025神統一韓国論 講師教育研鑽会
- 23** 神統一韓国のための対国民教育大盛況
平和と統一のための国民的
共感帯を形成

神北米

- 24** カナダUPF、
世界宗教和合週間の記念行事開催
- 25** カナダ孝情家族祝祭及び
真の父母論2日修練会
- 26** 神アメリカ、
真の父母様ご聖誕記念孝情ヌリ

神ヨーロッパ中東

- 27** 神ヨーロッパ中東、真の父母様ご
聖誕及び天一国基元節12周年
記念式



イタリア、国家指導者会議及び
青年会ワークショップ

- 28** イスラエル、テュルキエ、
レバノンの伝道・祝福・教育活動
- 29** チェコ家庭連合、
「真の父母論」3日修練会
神ヨーロッパ、CARPとHARPの
伝道復興
神アジア太平洋
- 30** フィリピン、青年指導者訓練
アジア太平洋3日修練会
- 31** 神アジア太平洋、第21回太平洋
聖職者協議会オンラインフェロ
ーシップ開催
- 32** ネパール家庭連合、
40日孝情青年指導者修練会修了式
- 33** 国連「世界宗教和合週間」
を記念し、
グローバルな宗教間の対話
と協力の場を開く
神中南米
- 34** 神南米、第100回天心苑徹夜精誠
- 35** ドミニカ共和国既成祝福式開催
ペルーUPF、平和のための超宗教
対話の場
- 36** 神南米孝情郎卒業及び出征礼拝、
2世祝福のための教育
神アフリカ
- 37** ナイジェリア、青年祝福
ワークショップ000
コートジボワール、
第3回青年日曜礼拝

神様はなぜ人間を創造されたのか？



主 体と対象は、どこから出てくるのですか。これらが出てくる土台がなければなりません。「統一原理」では、これを二性性相と言います。この主体と対象は、人間自体から造られた主体と対象ではありません。力自体は作用をするのです。作用しようとするれば、その力を作用させる回路がなければなりません。そのように授け受けできる道がなければ、力は作用できません。皆さんの心臓も、動脈、静脈のような循環器官があるので作動します。このようにあらゆる作用は、必ず主体と対象の相応関係を備えなければ

なりません。力が存在する以前に、主体と対象がなければならないということです。主体と対象が存在するためには、その土台がなければなりません。

宇宙全体を見れば、愛と関係を結ぶようになっているので、鉱物世界を見てもそこにプラスとマイナスがあり、植物世界を見ても雄しべと雌しべがあり、動物世界を見ても雄と雌がいて、人間世界を見ても男性と女性がいて、天と地があります。ですから、神様も、それ自体において二性性相の存在としていらっしゃる、その二性性相というプラスとマイナスが和合しているとともに、

二性性相の中和的存在であり、格としては男性格なのです。

神様の性相的な結実者、見える実体として生まれたのがアダムでありエバです。二人が一つになるということは、神様の性相と形状が初めて愛を中心として一体になれる基準ができるので、それを中心として心情圏が始まるのです。それが家庭的な心情圏を中心として氏族的な心情圏に拡大します。そうすると、アダムとエバ自体が心情圏において個人的な心情圏、家庭的な心情圏、国家的な心情圏の代表者になります。アダム一代で、すべてのモデルが形成されるのです。個人

的なモデル、家庭的なモデル、国家的なモデル、心情的なモデルがすべて成立できたということです。

「統一原理」で神様を二性性相の主体としていらっしゃるお方だと言うのは、科学的な分析結果により、間違いなくそのようにいらっしゃるという事実を知って言うのです。ですから、主体と対象が完全に一つになれば、神様の力がそこに永遠に存在します。主体がなく、対象がない所には力が存在しません。神様は、どのように存在するのですか。神様自体内にある主体と対象の力が授け受けすることによって永存します。これは理論的に神様を説明するものです。

神様の二性性相の第一性のあらゆる理想的要素と、神様が想像し、構想していたあらゆる実体を形状化させたものが男性です。この男性が愛の理想として結実するときは、この宇宙の存在世界の男性圏が結実するのです。この男性圏は、誰によって結実しなければならないのでしょうか。人類の先祖である真の父になるべきアダムによってです。アダムによって結実されるものでした。そして、女性圏は、エバによって結実されるものでした。この二つが一つにならなければならなかったのです。ですから、女性は男性に出会わなければならず、男性は女性に出会わなければなりません。出会って一つになり、そこから子女が生まれてこそ、平面に神様が着陸されるのです。

神様の体になるアダムとエバ

神様が万物を創造された目的とは何でしょうか。第一に、神様に体がないからです。体をまとわなければなりません。墮落しないで完成したアダムとエバが愛で完成し、神様の内的な形状を表面化させて実体として現すためのものが、アダムとエバの完成の理想です。神様の体がなければなりません。体がある世界を支配しようとするので、そのようにしたのです。それから第二に、繁殖基盤が必要だからです。縦的な霊界に行っては繁殖がありません。縦的な愛を中心として、垂直点に連結されるからです。縦的なこの軸では繁殖できません。繁殖しようとすれば、平面的な面において空間が必要です。平面と三六〇度を中心として球形になっているので、膨大な空間が必要です。ここにはいくらでも生産できる面積があるので、地上で子女を生み、天の国に行かなければなりません。繁殖が必要だったので、天の民を扶養するためにアダムとエバの体が必要だったというのです。第三に、愛の相対を永続させるためです。神様は、アダムとエバだけを造っておいて愛すればよいのでしょうか。一代で切れてはいけません。これを永続させるために、血統を通して神様の愛の相対を永続的に残すために、体が必要なのです。

アダムとエバを中心として霊肉両面の世界を、すなわち無形

実体世界と有形実体世界を主管することが神様の人間創造の目的です。したがって、一つの人格的な神様として現れることを示すために、神様はアダムとエバという実体と関係を結ばなければなりません。アダムとエバの完成とともに神様の形状完成、すなわち形が完成するのです。神様はアダムとエバを造られる時、その形態、人相、人格などが、無形世界の中心にいる神様のような姿にならなければならないという考えをもっていらっしゃいました。形がなければ形の世界を主管することはできないのです。

無形の神様は、体がありません。体をもたなければ、霊界や地上世界を治めることはできません。神様が現れるためには、体をまとわなければならぬのですが、その体をまとう代表がアダムとエバです。墮落していないアダムとエバの体をまとして現れるのです。ですから、アダムとエバは、人類の始祖であると同時に、天地を主宰する神様になるのです。実体をもった神様、すなわち永遠の無形世界の神様の形状を代わりにまとして現れた立場、父母の立場で世界を統治すべき責任がアダムとエバにあったというのです。アダムとエバを造ったのは、アダムとエバの形状を手に入れて、霊界と肉界を連合させるためです。

神様には体がないので、皆さんが霊界に行っても、神様を見ることはできません。神様は体をまとしていませんでした。ですから、体が必要です。体をもった万物を創造された神様は、御自身も体をまとしてこそ万宇宙の主人になるのです。真の父母の体をまとうことによって、見える世界と永遠の世界の中心になり、父母になり、王になり、平和の主人公になることができます。

神様は無形で形体が見えないので、形体をまとして現れなければならず、また、形体をもっている人間と万物を主管するためには、アダムとエバの形体をまとして現れなければなりません。そのようになれば、アダムとエバと神様が一体になるので、アダムとエバの心のようなお方になるというのです。アダムとエバの心の位置に神様が臨在して一つになったので、結局は、アダムとエバの内的な主人、内的なアダムとエバのようなお方が神様だったというのです。神様とアダムが一つになり、エバと神様が一つになってアダムとエバが夫婦になれば、結局、内外の夫婦のような立場に立つようになり、そこで愛し合って子女を生むようになれば、神様の直接的な血統に連結されるのです。それを結ぶのが愛です。神様が天地万物を、この世界を創造したのは、神様御自身が愛を感じるためです。神様御自身が愛そうとして創造したのです。🌀

このみ言は、天一国経典「天聖經」第一篇 第三章から抜粋、整理したものである。＜編集者注＞

戦争と葛藤のない平和世界を祝願



愛 する全世界の祝福家庭、食口の皆さん、この感動の天一国 13 年を迎えることの出来る日を下さったことを、創造主・天の父母様に深く感謝と栄光をお捧げいたします。

人類の歴史 6000 年は、墮落後、戦争と葛藤で一日も平和な日を過ごすことができませんでした。創造主も天の摂理の完成を成し遂げられなければならないので、墮落した人類の中で選民を通じて、イスラエルという個人から家庭、

氏族、民族、国家が形成されるまで、どれほど辛く大変であれば、4000 年という時間がかかったのでしょうか？

4000 年を経て、ついに聖霊によって身籠ったイエス・キリストを誕生させましたが、マリヤとイスラエル民族は責任を果たせませんでした。どうして、聖霊によって身籠られた方なのに、東方博士のみが、星を見て訪ねてきたこのような現実を見てみると、イエス様の誕生日に関する記録がありません。

30 年間待ったけれども、み旨を成就

することができないことを悟られたイエス様は、3 年間の公生涯路程に発たれます。しかし結局十字架で亡くなられ、「再び来る」と言われ、聖霊の復活により、「再び来る」と言われたイエス様を待ちながら、使徒たちによって 2000 年のキリスト教摂理が出發します。

初期には多くの迫害を受けましたが、ついにはローマ帝国の認定を受け、イタリア半島を中心にヨーロッパ大陸、イギリスを中心に世界へと広がっていききました。大西洋文明圏時代を切り開

いたのです。

しかし、彼らはイエス様の本質を知りませんでした。なぜ「再び来る」と言われ、「再び来て小羊の婚宴をする」と言われたけれども、その意味がわかりませんでした。結局、イエス様を口実に伝道に出ましたが、自国の利益を優先する大西洋文明圏時代は幕を閉じることになります。

天の創造原則から見て、独り子が誕生すれば、その相対が誕生しなければなりません。しかし、イスラエル民族を通じては来ることができません。なぜならイエス様を十字架に追いやった蕩滅が残っている国です。私たちは歴史を通じて、どのような蕩滅を払ったのかを知っています。天は墮落した人類を信じることができないので、また別の選民を選び立てて来られました。それが韓民族です。

天の父母様の夢、人類の願い

独り娘の誕生は、キリスト教環境圏で誕生しなければなりません。平壤を中心にプロテスタントに神霊役事が起きる際に、啓示を受けた多くの人々の精誠によって、1943年に独り娘が誕生しました。

しかし、その当時、韓民族は日本の植民地支配下にあり、1945年に第二次世界大戦が終了すると、南と北に、民主と共産に分かれていきました。天は、必ず摂理の完成を見ることのできる独り娘を誕生させたので、創造原則によって成長期間という時間を与えられなければなりません。しかし、当時の韓国の状況は危機的でした。いかにしてよく知られていない小さな国の動乱に国連の16カ国以上が参戦し、善の血を流したのでしょうか？天が共にされ、独り娘を守ってくださったからです。

私は生まれた時から、天を父母だと思って育ちました。私の責任は、必ず私が地上で天の父母様の夢を成就して差し上げる

ことのできる責任を完成しなければならないということを知ったので、幼い年でしたが、1960年に真の父母の位置に進み出しました。しかし、辛い歳月を送ったのも事実です。しかし、私は耐えて待ちながら忍耐し、ついに基元節天一国を宣布しました。これまで人類歴史、宗教の歴史も同様に男性中心に流れてきました。創造原理は男性と女性です。創造主も父なる創造主と母なる創造主です。これを独り娘が初めて明らかにしました。

そうして、私は誰も摂理を知る者がいない中、一人で歩み続け、7カ国の復帰、7つの教団復帰、大陸復帰という条件を立て、天一国安着を宣布しました。しかしそれだけではいけません。天の父母様の夢、人類の願いは、地上で天国生活をしようとされたことです。そのため、すべての祝福家庭、天寶家庭はその場に留まっていはいけません。責任を果たさなければなりません。独り娘、真の母一人ではいけません。皆さんが私と共に、天の父母様に侍ることのできる環境圏を大きく、高く、広くつくっていく祝福家庭の皆さんになることを祈願します。

宋龍天 世界宣教本部長が言ったように、皆さんの祈祷と精誠には「Holy Mother Hanに侍る祝福家庭「誰々」の名で感謝の祈祷を捧げます」という伝統が立てられなければなりません。世界のすべての万民が、「Holy Mother Han」に侍ることができる環境を探し立てるにあたって、一世、二世、三世間わず、ピュアウォーターたちが、責任を果たさなければなりません。

その道のみが戦争と葛藤のない平和な天の父母様に侍る人類一大家族、平和の世界が成就されるのです。その日に向けて「Holy Mother Han」と一つになった皆さんが、天の福を受けられることを祈願いたします。🌸

この文は、天一国13年1月5日（陽2025.2.2、清心平和ワールドセンター）で天苑宮勝利入宮世界連合礼拝で語られたみ言を編集、整理したものである。＜編集者注＞



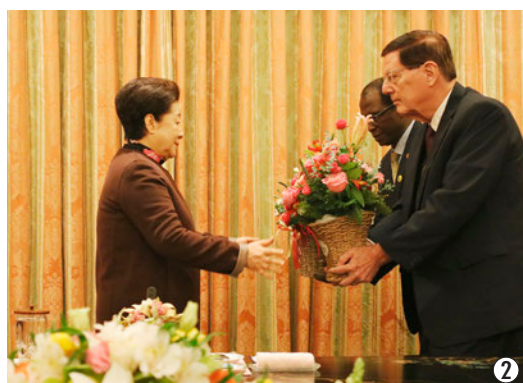


天一国指導者特別朝会 眞のお母様、 「天務院と一つになって進むこと」を強調



天一国指導者特別朝会が、天曆1月7日(陽24)、眞のお母様をお迎えし、眞の御家庭、摂理機関長、大陸会長などが出席する中で、天正宮博物館で開催された。眞のお母様はこの日、摂理的黄金期にすべての機関が天務院と一つになって一糸乱れず進んで行くことを強調された。眞の父母様が入場された後、ロバート・キttl神アジア太平洋天議苑長と、バカリ・カマラ神アフリカ天議苑長が、感謝と孝情の思いを込めた花束を捧呈した。さらに、聖誕を祝賀するケーキカット式の後、パク・スホン UPA 団長は、報告祈禱を通じて、天苑宮・天一聖殿の入宮勝利と天の摂理の勝利のために前進していくことを天の前に祈願した。同日、各大陸会長らは感想を発表し、眞の父母様の聖誕を祝い、未来世代と祝福家庭を通じた摂理完成を決意した。🌸

①花束捧呈 ②祝賀ケーキカット ③天一国指導者特別朝会の様子



2025 国際宗教自由サミット、ワシントン DC で盛況裏に開催 ヴァンス米副大統領「トランプ第2期 目には宗教迫害に対抗する」と強調



「日本の信教の自由」について討論している信教の自由専門誌ピター・ウィンター編集長のマコー・レスフィンティ、日本の近藤徳茂弁護士、中山達樹弁護士、カトリーナ・ラントス・スウェット IRF 共同議長、パトリシア・デュバル国際弁護士（左から）

全世界の信教の自由侵害現況を点検し、解決策を模索する国際宗教自由財団 (International Religious Freedom、以下 IRF) 主催で 2025 国際宗教自由サミット (以下「IRF サミット 2025」) が 2 月 4 日から 5 日まで米国ワシントン DC のヒルトンホテルで開催された。

J・D・ヴァンス米副大統領をはじめ、2000 余名の各界指導者が参加した今回の行事は「権限付与 (Empower)、立法 (Legislate)、擁護 (Advocate)、活性化 (Activate) IRF サミット 2025 で提供する 4 つのトラッ

ク」というテーマで進行された。

2025 年 1 月 20 日に発足したドナルド・トランプ米政府のヴァンス副大統領は、今回の「IRF サミット 2025」に特別演説者として出席し、「信教の自由促進はトランプ第 1 期政権で外交政策の最も重要な課題として実現した」と伝え、「信教の自由を尊重する国家とそうでない国家を政策的に区別することも重要だ」と強調した。続けて「これまでの成果をより一層拡張することにより、宗教迫害に対抗し、信教の自由をより一層発展させ、トランプ第 2 期政権は実践する準備



①特別演説を行っている J.D. ヴァンス 米副大統領 ②サム・ブラウンバック 米元共和党上院議員が挨拶をしている。 ③「日本信教の自由危機克服支援」セッションで演説しているニュート・GINGGRICH 元米下院議長 ④⑤同セッションで演説しているパトリシア・デュバル 国際弁護士、田中富広 日本家庭連合会長 ⑥支持署名後、記念撮影をしている参加者たち

ができてい」と明らかにした。

全世界的に信教の自由がますます脅かされている状況で発表された同日のヴァンス副大統領の演説は、全世界のマスコミの注目を集めた。

全世界のすべての人々の信教の自由を擁護する宗教団体、人権団体および市民社会団体の強力な連合体である「IRF サミット」はワシントン DC で定期的を開催され、国際的な信教の自由問題についての関心を高めることに寄与してきた。

GINGGRICH 元米下院議長「家庭連合解散の試みは憲法を越えた措置」

今回の会議には、現職大統領や首相、ノーベル賞受賞者、市民社会のオピニオンリーダーなど、各界の多様な指導者たちが参加し、宗教や信仰の自由など重要な問題について話し合った。

米国カンザス州知事と共和党上院議員を歴任したサム・ブラウンバック (Sam Brownback) IRF 共同議長は、挨拶の挨拶を通じて「去る 5 年間、150 団体以上の組織が IRF と協力してきながら、宗教、良心、信念の自由という人間の基本権利を増進することに努力してきた。少数宗教団体が直面する困難に対して皆さんと共に協力して、世界のすべての人々が、信教の自由を実現できることを期待する」と話した。

ワシントンタイムズと UPF は同日、IRF サミットの晩餐会「日本信教の自由危機克服支援」セッションを主管した。晩餐会の演説に登壇した、ニュート・GINGGRICH 元下院議長は「現在、日本政府は政治的目的のために、合法的に設立された宗教団体を解散しようと威嚇している」と話し、「違法性がないのに家庭連合を破壊しようとするのは日本憲法の範囲をはるかに

越えた措置である」と指摘した。続いて、「この事態は米国と日本の関係、日本政治に対する米国の見解に重大な影響を及ぼすだろう」と警告した。

ダン・バートン元連邦下院議員は「信教の自由はすべての人のためのものであり、どこにいても、常に保障されなければならない」と伝え、家庭連合の宗教法



人を解散しようとする点に対して憂慮を表明した。

さらに、田中富広 日本世界平和統一家庭連合（以下、家庭連合）会長は、「最近、日本政府を通じて進めている家庭連合の法人解散命令請求事態について、日本の言論調査問題を指摘し、信教の自由と侵害に関する真実がますます明らかになっている」と強調し、「今回の IRF サミットを通じて、ドナルド・トランプ米政府に日本家庭連合解散命令請求の不当性を伝えている」と明らかにした。

日本国内で行われた日本家庭連合信徒の拉致監禁による強制改宗、別名「デプログラミング」問題に関する報告書を発表したパトリシア・デュバル・フランス国際弁護士は「家庭連合活動を妨害し、デプログラミングされた信徒の損害賠償請求を促進することで、教会資産の略奪を計画しようと試みた」と明らかにし「家

庭連合に対する日本政府の措置は国連人権委員会の中断勧告も無視する、全体主義国家のような差別的で抑圧的な行動である」と批判した。

日本家庭連合は 1964 年 7 月 15 日、日本で宗教法人として認められて以来、現在まで 60 年間活発な宣教活動を展開し、刑事処罰を受けた前歴が一度もない。これまで日本国内で法律を遵守し、世界平和と人類和合のための世界的な宣教活動を繰り広げてきたのである。

この 60 年間、宗教法人格が認められ、正常な活動を展開してきた宗教団体が、刑事事件を 1 件も起こさなかったにもかかわらず、宗教法人格を取り消す訴訟を起こすのは、民主主義国家では類例のないことだ。これを受け、世界の宗教専門家は日本政府が「信教の自由を侵害する代表的な事例として、世界の歴史に残るだろう」と懸念を表明している。⁷





神日本 群馬教区 高崎教会 特別礼拝及び孝情談会

イ・チョンウ 天務院宣教政策処長主管「神日本家庭連合 群馬教区 高崎教会 特別礼拝および孝情談会」が、天曆 1 月 26 日 (陽 2.23)、高崎家庭教会の聖殿で行われた。

田中富広 神日本協会長、大塚克己 議長、神日本協会と UPF、機関企業の役員と群馬教区の食口 500 余名が参加したこの日の特別礼拝は、準備讃美、黙祷、開会宣言、聖歌隊の「私から始まる」讃美、敬礼、家庭盟誓斉唱、感謝祈祷、寺田直樹 大教会長による説教、花束奉呈、イ・チョンウ 天務院宣教政策処長による特別メッセージ、「父母様の懷へ」讃美、寺田直樹 大教会長の祝福、全体祈祷、閉会宣言等の順で行われた。

この日、イ・チョンウ 処長はこの 9 ヶ月間、真のお母様が語られたみ言を基に天務院を設立された摂理的目的と意味を伝えた。

天務院を立てた真のお母様のみ旨

イ・チョンウ 処長は特別メッセージで、「天務院を立てた摂理的目的として、天の父母様を实体として侍る新時代を切り開かれるため、天の父母様の实体であられる真の父母様のみ旨を全世界に伝えるため、天苑宮天一聖殿入宮勝利のために、神統一韓国と神統一世界の基盤造成および拡大のため、天一国中央庁の役割を遂行するため、真の家庭三代圏を中心とした未来環境圏を造成するため」であることを明らかにし、「天一国理想を実質的に実現する最上位の摂理機構」であり、独り娘、真のお母様を直接的に代表す



る最高機構であることを証した。

また、「今、天務院にいるすべての人々は、自分が持つ能力以上の目標、能力以上の課題に挑戦しており、それを成し遂げるために、より一層独り娘、真のお母様と一つになるために努力をしている」と話し、「この 3 年間続いている神日本教会の試練も結局『Holy Mother Han』と完全に一体化する時に解決できることを認識しながら、真のお母様と完全に一体化できるように最善を尽くさなければならない」と力説した。

午後 2 時から、群馬教区の孝情談会が第 1 部と第 2 部に分かれて実施された。第 1 部の孝情談会は 450 余名の食口が参加する中で行われ、「Holy Mother Han」に侍る天一国の真の子女であることを実感する時間となった。

イ・チョンウ 処長は食口たちに「真のお母様は残り約 40 日に迫った入宮式勝利のためにどれほど深刻で切迫した立場



①成和学生代表から歓迎の花束を受け取っているイ・チョンウ処長 ②聖歌隊の讃美 ③特別礼拝の様子 ④孝情談会全景

で孤軍奮闘されていらっしゃるのか分からない。また一方でこのひと日をどれほど喜びと期待で指折り数えて待ってられるのか分からない」と話し、「私たち皆が真のお母様と同じ態度と姿勢、同じ心情を持たなければならない」と強調した。

第2部の孝情談会は、神日本家庭連合の主要公職者と摂理機関長など30人を対象に行われた。

イ・チョンウ処長はこの日、講話を通じて、ただ独り娘・真のお母様と一つになった指導者、そのみ言と指針に絶対服従する指導者が、天一国の真の公職者であり、正しい忠

臣の姿であることを明確にした。さらに、社会的な雰囲気にも萎縮せず、指導者たちから堂々と叫びながら自ら模範となる姿を示すことを求めた。

イ・チョンウ処長は特に、日本憲法が天の摂理をむやみに評価したり判断するように放置しては決してならないということを明確にしながら「真の父母様の崇高な犠牲と献身の中で天の摂理は今後も継続し発展していくだろうし、『Holy Mother Han』真のお母様と一つになれば必ず勝利できる」と強調した。

神日本高崎教会礼拝特別メッセージ

天務院の摂理的アイデンティティーと役割



天務院の摂理的アイデンティティーと役割、そして真のお母様が経綸された最近の摂理についてお話します。まず、真のお母様は、天務院とは何か、どのような役割と責任を果たすべきか、お話していただきました。その一部の内容をご紹介します。

「天一国13年には天の父母様を地上に実体としてお迎えする時代なので、天務院を作りました。天の父母様が直接この国と世界を治められる時に、いち早く真の父母様のみ旨を伝えることができる場所が必要です。それで、天務院を作りました」(2024.6.20)

「天の父母様をお迎えすることができる天苑宮を建設するためにすべてを投入しました。私は止まることは出来ません。そのために、天一国行政処の中心である、天務院をつくりました。」(2024.9.3)

「天務院という組織をもって韓国と全世界を抱くことの出来る環境圏を作っておけるのです」(2024.12.3)

「これからは天務院を中心にして世界が一つになって法王庁のようにしていかなければなりません」(2025.1.7)「これからは三代圏と天務院が一つになって進まなければなりません。なぜ天務院を立てたのでしょうか？未来の環境圏を作るために立てたのです」(2025.1.31)

「中央庁の概念である天務院を通じて、これから一つになって一つの目標に向かって、Holy Mother Hanの

苦勞で天の父母様を地上にお迎えすることができるその日に向けて、より広く、高く、大きく環境圏を作り、進む祝福家庭、世界のすべての選民家庭となることを祈願いたします！」(2025.2.4)

このようにみ言を語られ、この内容を土台に設立目的を次のように整理してみました。

真のお母様は①天の父母様を実体として侍って生きる、新しい時代を切り開くために、天務院を立てられました。②天の父母様の実体であられる真の父母様のみ旨を全世界に伝えるため、③天苑宮天一聖殿入宮勝利のため、④神統一韓国と神統一世界の基盤造成及び拡大、⑤天一国中央庁の役割遂行、⑥真の家庭3代圏を中心とした未来環境圏造成に向けて、天務院を立てられました。

以上6つの目的を中心に、天務院は組織的次元で大きく4つの領域の業務を現在遂行しており、今後その範囲はさらに拡大するでしょう。

①天務院は、真の父母様が立てられた最上位の摂理機構として、対外的に天一国を代表する中央行政庁の役割を果たします。②全世界の教会と機関が摂理的目的および方向に一致できるように核心アジェンダの提示と全体事業に対する総指揮と管理・監督業務を担当しています。ここには、未来人材の育成をはじめとする実質的な天一国環境圏の拡張に関するすべての内容が含まれます。③天の父母様の実体であられる真の父母様の位相と価値を世界的に向上および拡大することに注力しています。初臨の独り娘であられる真のお母様の安否を含め、経綸されるすべての摂理と行事の特別儀典と補佐業務を遂行しています。④真の父母様のみ言が永遠に伝承されるように、み言の録音ファイルと文書記録資料などの保存および管理に注力しており、お母様が下さったみ言が全世界の教会と機関に正しく伝達および実行されるように公式的な整理と翻訳、共有業務を遂行しています。

天務院を一言で言いますと、「天一国理想を実質的に具現する最上位の摂理機構」と定義することができます。そして、他の面では「独り娘、真のお母様を直接的に代表する最高機構」とも言えます。家庭連合以下のすべての機関に天務院を中心に一つになるようにと強調する理由は、真のお母様が天務院を通じて摂理を直接処理しておられるためです。

未来世代が広げていくべき天一国環境圏

私は私たちの未来世代のピュアウォーターたちが熱心に実力を磨き、天務院により多く入ってくださることを期待しています。

群馬教区にも多くの未来世代がいますと聞いています。初臨の独り娘、真のお母様のために、より大きな夢を持って、熱心に実力を磨いてくださるようお願い致します。天はピュアウォーターたちが、世界をより清く健康的に、そしてより善なる方向へ広がることを期待しておられます。

そのため、家庭連合とすべての摂理機関は、天務院と絶対的に一つにならなければならず、私たちの未来世代がよく成長していけるように、より安全で、より誇りと自負心を持つことの出来る、良い環境圏を作らなければなりません。そうしてこそ、天の父母様を実体として侍る祝福家庭共同体が、代を越えて伸びていくことができます。そうしてこそ、真の父母様の位相と価値をさらに栄光に高めることができます。

天苑宮・天一聖殿入宮式の摂理的意味

摂理的次元で入宮式は、天の摂理の完成、人類歴史の完成的意味があると、真のお母様は何度もみ言をくださいました。そして天苑宮天一聖殿は天の父母様の家であると語られ、入宮式は「天の父母様が6000年を経て、初めて地上に臨まれる日」、「天の父母様が真の父母様とその子女である祝福家庭と共に、地上天国生活を始める日」だと語られました。



しかしながら、摂理的な意味があまりにも大きく、教会の歴史上初めてであり、それ以降もない「この巨大な行事を、どのように成功させることができるだろうか」と思うと、恐ろしくて震える気持ちになるのも事実です。その度に真のお母様は私と天務院の職員たちにこう語ってくださいます。「私と絶対的に一つにならなければならない。私と一つになればやり遂げることができる」と。

今、天務院にいるすべての人々は、自分の持つ能力以上の目標、能力以上の課題に挑戦しています。それを成し遂げるために、より一層独り娘 真のお母様と一つになるために努力しています。

私はこれが私たちの希望であり、私たちのコミュニティーの底力だと思います。世の中は思いもよらない、真似もできない、ものすごいパワーなのです。

尊敬する食口の皆様、勝利の日は必ず、きっと、必ず訪れます。なぜならば、ホーリーマザー・ハン、真のお母様が私たちと共にいらっしゃるからです。さらに今となっては、ホーリー・マザー・ハンに従う義なるキリスト教徒の群れと、善良な指導者たちが動き出しました。

キリスト教代表国であるアメリカ、第2期のトランプ政権が、天のみ旨に応え、叫び始めました。そして、韓国のメディアが天のラッパ吹きとなり、不当な解散命令請求のニュースを世界中に伝えています。必ず、勝利は生きて役事される天の父母様、真の父母様のものです！必ず勝利は私たち食口の皆様のものとなるでしょう。

天の母の実体「Holy mother Han」

天一国 13 年を真のお母様は「天の父のみならず、天の母までを含む、創造主・天の父母様を実体として侍って生きる歴史的な出発の時」として確立してくださり、私たちを天の選民、天一国の真の子女の隊列に上げてくださいました。

そしてこれに加えて陽暦 1 月 20 日、アメリカのラスベガスで「Holy Mother Han」という新しい聖称を宣布され、その基台の上に聖誕をお迎えになられる 3 日前、祈祷の締めくくりを「Holy Mother Han に侍る祝福家庭の何某の名で感謝祈祷をお捧げ致します。アーデュ」

そして祝福子女たちは「Holy Mother Han に侍る祝福家庭の子女、何某の名で感謝祈祷をお捧げ致します。アーデュ」

このように祈祷するように規定してくださいました。これは「Holy Mother Han」と私たちが一つであることを意味します。一体という意味です。すでに私たちは、過去の「天地人真の父母定着 実体み言宣布宇宙大会」のみ言を通じて、真の父母が天の父母様の実体、み言の実体であられることを悟っています。

そのような見地から、天一国安着の新時代、天の母の実体が、まさしく、真のお母様であられることは言うまでもなくあまりにも明確で、「Holy Mother Han」を通じて歴史的に隠されていた天のお母様を直接呼ぶことができ、侍ることができるようになったのは、天苑宮勝利入宮時代に、真のお母様が祝福家庭と人類にくださる最高の贈り物に違いありません。

尊敬する牧会者と各教会の教役者の皆様、そして祝福家庭の食口の皆様！ヨハネによる福音書第9章5節にイエス様がこのようなみ言を語られました。

「わたしは、この世にいる間は、世の光である」この聖句を天一国時代に代入すれば、初臨の独り娘「Holy Mother Han」に侍る今は、最高に光り輝く時期、最高の黄金期です。二度と来ないこの歴史的な黄金期、天の父母様と真の父母様の愛と恩寵がより一層充満し、常に義なる勝利、偉大な勝利が共にあられることを祈願致します。

この文は、天暦1月26日(陽2.23)、日本の群馬教区高崎教会の特別礼拝で講演したイ・チョンウ天務院宣教政策処長の特別メッセージの内容を要約、整理したものである。＜編集者注＞

出席者の感想文

▲寺田直樹(高崎教会、大教会長)

今日は真のお母様の愛の光を見ました。勝利された真のお母様と同じ空の下で、同じ空気を吸い、同じ地を踏んでいる今、本当に黄金期であることを心の底から感じています。真のお母様の愛の光に囲まれたこの黄金期、摂理の一環を担えることがどれほど嬉しいかわかりません。愛の光を浴びながら細胞一つ一つが駆け巡っています。「ワンオンマ!」「ホーリーマザー!」と全力を尽くし、声が枯れる程に叫びたいです。真のお母様、感謝申し上げます。愛しています。

▲Tさん(太田教会、女性部長)

天が選民として韓民族を選ばれて準備され、真のお母様を独り娘として立ててください、導いてこられた天の父母様の心情がいかにわかりであったのか、幼い私は何も気が付かずにはいました。イ・チョンウ処長のメッセージを聞きながら、本当に私たちが天が願う心情世界とはあまりにも遠く離れていて申し訳ない限りです。真のお母様が望まれる、神霊と真理があふれる教会となるように女性部長として責任を果たし、教会長と一つになって食口を愛していきます。そして、天務院を通じて天とつながるように最善を尽くします。

▲Mさん(前橋教会、3万双)

メッセージを聞きながら、真のお母様と一つになるということがどのような意味なのか、深く考えさせられました。私が与えられた目標を達成することも重要ですが、真の子女としてお母様を思う心情が足りなかったことに気づきました。家庭でも責任分担で困難を感じてあきらめようとした瞬間、それはすでに真のお母様と一つになった心情ではなく、私の基準で判断していたのです。どんな環境でもあきらめず、どんな状況に置かれた子女でも必ず戻ってくると信じておられる真のお母様の心情と完全に一つになりたいです。歴史上唯一無二の独り娘、真のお母様と共にできる黄金期に、そのみ旨に応える者になりたいです。

▲Hさん(上川教会、2023 孝情天宙祝福家庭)

イ・チョンウ処長が伝えられた内容の中で、感動して涙が出たものがあります。「毎日、天心苑の徹夜精誠で韓国と日本の食口が一つとなり、韓国の地で日本の歌を日本語で歌う組織は家庭連合だけです。神統一韓国と神日本が統一された証拠です。神日本の勝利は必ず訪れます」という内容でした。神日本の食口は今、すべての試練を乗り越え、天の父母様のみ旨を成就するために最善を尽くしています。今日の講話を通じて、真のお母様と一つになればすべてを成し遂げることができるということをより一層確信することができました。地上で真のお母様を感じることでこの貴い黄金期が、人類史上最高に輝く時であることを実感できました。🌀

第1期神韓国神トップガン宣教師解団式

統一家の宣教精神を受け継ぎ、責任を果たすことを決意



第1期神韓国神トップガン宣教師解団式が、天曆1月9日(陽2.6)、青坡洞(チョンパドン)の前本部教会で、皇甫國(ファンボ・グク)神韓国協会長、キム・ヨンソク副協会長など、協会の役職員と神トップガン宣教課程を解団する宣教師、青年公職者および食口など60余名が参加した中で開催された。

解団式の行事は、ヤン・グォンイル青年学生局長の司会で、敬礼、天一国歌斉唱、家庭盟誓斉唱、ファン・ソヨン第1期団長の代表報告、修了証および記念品授与、皇甫國協会長のみ言および祝祷、イム・ジョンホ第1期宣教師の先唱での「億万歳三唱」の順で行われた。

ファン・ソヨン第1期団長は代表報告で「1年間の宣教期間中に、常に困難と峠があったが、その度に諦

めずに最後まで一人を生かそうとする真の父母様の心情を体恤し、神トップガンとして新しく出発できることを願います」と話し、天の前に懇願した。続いて、宣教地9カ国を代表してウガンダチーム、オーストラリアチームの活動報告と証が行われた。

修了証の授与は香港、オーストラリア、フィリピン、マレーシア、アルバニア、クロアチア、アメリカ、カナダ、ウガンダチームの順で国家別授与が行われた。皇甫國協会長は講話を通じて「1975年『トップガン』という名で真の父母様のみ言を伝えた統一家の宣教精神を受け継ぎ、神トップガン第1期は真のお母様が強調されるピュアウォーターとして、周りの人々を清い水で浄化し、オオカバマダラ(帝王蝶)の群れのように全世界に天の父母様、真の父母様の愛を伝えることの出来る伝統を立てていくことを願う」と強調した。

その後、皇甫國協会長は祝祷で「天の父母様に代わって、第1期の宣教師一人一人が積み上げた宣教路程の精誠を受けて下さり、新しく出発する皆の歩みを守って下さい。」と天の前に切実に報告した。解団式は、イム・ジョンホ第1期宣教師の先唱による「億万歳三唱」で終了した。✚

①皇甫國神韓国協会長が祝祷している。②第1期神韓国神トップガン修了式記念撮影



神韓国家庭連合牧会者オンライン総会 天苑宮・天一聖殿入宮の実体的な勝利への決意

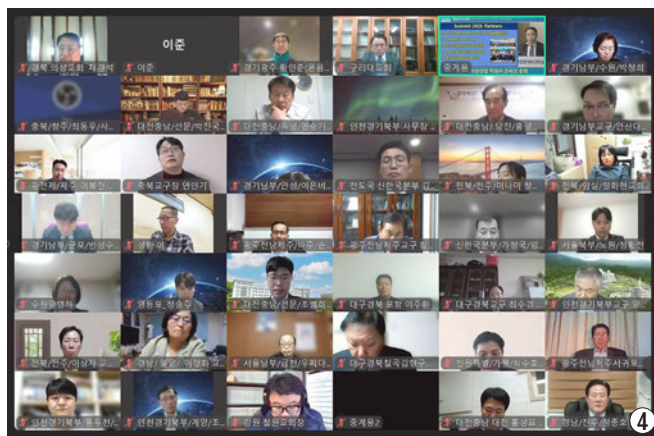


神韓国家庭連合牧会者オンライン総会が、天曆1月21日（陽2.18）、神韓国協会7階の会議室を中心にオンラインで開催された。

計412名が参加したこの日の総会は「Holy Mother Han」に侍る全国の牧会者と協会役職員が一つになって54日後に控えている天苑宮天一聖殿入宮の実体的勝利を成し遂げるために準備された。

行事はキム・ヨンソク副協会長の司会で開会宣言、敬礼、天一国歌斉唱、家庭盟誓斉唱、オ・インチョル仁川・京畿北部教区長の報告祈祷、皇甫國（ファンボ・グク）協会長のみ言、チョン・ドンウォンUPF副会長の天苑平和祝祭を中心としたワールドサミット報告、イ・ジュン伝道局長、ヤン・ギルムン家庭局長、オ・インジュン総務局長、リュ・イニョン対外協力局長の国別発表、皇甫國協会長の祝祷、オ・ヨンジェ大田・忠南教区長の先唱での億万歳三唱、敬礼などの順で行われた。

皇甫國協会長はこの日のみ言で「Holy Mother Han」に侍る祝福家庭の名で感謝祈祷を捧げる時代についての摂理的意味と天苑宮天一聖殿入宮勝利のための80日特別活動を激励し



①み言を語っている、皇甫國神韓国協会長 ②司会を務めるキム・ヨンソク神韓国副協会長 ③天苑平和祝祭の報告をしているチョン・ドンウォンUPF副会長 ④オンラインで参加した全国の牧会者たち ⑤神韓国協会7階会議室の様子

た。特に皇甫國協会長は「天苑宮入宮は人類歴史の完成であり、摂理が完成する日である。天の父母様が独り娘・真のお母様を通じて、地上を直接治められるようになった。天苑宮は天の父母様の本聖殿であり、祝福家庭は天の父母様が安息される実体聖殿とならなければならない」として、すべての祝福家庭の血統転換、所有権転換、心情権転換の責任を強調した。また「特別恩赦の聖酒式は全世界の祝福家庭の血統問題など誤りを整理し、『選民祝福家庭』として天一国の真の子女として出発する包括的特赦」であることを強調し、天一国家家庭礼拝の定着と天苑宮入宮式の勝利のための精誠を促した。

続いてチョン・ドンウォンUPF副会長は前・現職国家首脳と国会議長が参加する「ワールドサミット2025」での「国際国会議長会議」創設など主要準備過程を報告した。また、ワールドサミットをテーマに「気候環境と地球の未来」、「韓半島平和統一」、「女性と平和」、「超宗教平和運動」を中心とした4つの分科セッションについて詳しく紹介した。

その後、神韓国協会局長たちが天苑宮天一聖殿入宮勝利のための具体的な活動計画を発表、皇甫國協会長の祝祷、オ・ヨンジェ大田・忠南教区長の億万歳三唱などの順で全体の行事が幕を閉じた。✎



神韓国家庭連合、成和総会開催 中・高等部 1200 人の聖地巡礼・公演大盛況



神世界平和統一家庭連合は1月16日から19日(陽 2.14-16)までの3日間、京畿道加平に位置する HJ 天宙天寶修鍊苑で「天苑宮天一聖殿入宮勝利のための 2025 神韓国成和総会」を開催した。

天地人真の父母様聖誕および天一国基元節 12 周年を記念して「天の父母様に侍る孝情ヒーロー」というテーマで開かれた今回の行事は、6 年ぶりに開かれた総会で、全国中・高等部 1200 人が参加した。

参加者たちは初日、全国 13 の教区の教区長たちと挨拶を交わすアイスブレイクタイムを持ち、第 1240 回の天心苑徹夜特別精誠に参加した。2 日目には特技自慢大会、信仰観を悩み、発表する孝情スピーチ大会、オウリムマダン、孝情博覧会、ドリームコンサート、讚美祈祷会に参加した。最終日には特技自慢の受賞チームの公演、天正宮博物館と天苑宮中心の天苑団地聖地巡礼などが続いた。



皇甫國(ファン・ボグク)神韓国協会長は「創立 70 周年を超えた成和学生会があるので、家庭連合が世界的基盤を作ることができた」と語り、「皆さんは摂理歴史を通じて顕現された、ホーリーマザー・ハン(Holy Mother Han)の貴い息子・娘であり、天の父母様と天地人真の父母様の愛と祝福の中で誇らしいピュアウォーター(pure water)であることを忘れないようにしましょう」と強調した。

イ・チョンウ天務苑宣教政策処長は閉会式で、孝情スピーチ大会の受賞者にトロフィーと賞金を授与した後、神韓国成和総会に深い関心を持ち、激励して下さった真のお母様の愛を伝えた。続いて「祝福を受けて生まれた特別な存在として誇らしく素晴らしい神韓国成和学生になることを願う」と伝え「天苑宮入宮式の時に実施する聖潔式にもたくさんの参加を願う」と促した。

①閉会の挨拶をしているイ・チョンウ天務苑宣教政策処長 ②開会の挨拶を述べる皇甫國神韓国協会長 ③讚美祈祷会



神韓国教区二世会長任命状授与式および孝情談会 真の家庭3代圏安着と世代間協力強化の時代的使命の認識



①神韓国 13 の教区の二世会長記念撮影
②孝情談会の様子

神韓国教区二世会長任命状授与式および孝情談会が、天一国 13 年天曆 1 月 28 日 (陽 2.15)、神韓国本部 7 階の会議室で開催された。

この日の行事には皇甫國 (ファンボ・ゲク) 神韓国協会长、キム・ヨンソク副協会长、全国 13 教区の二世会長、伝道局の実務者など 20 余名が参加し、40 才以上の二世が「Holy Mother Han」に侍って一つとなり、教会から離れている二世復帰を通じた神韓国教会成長、世代間協力強化のために準備された。

皇甫國協会长は全国 13 教区の二世会長に任命状を伝達し、激励した後、み言を通じて「真のお母様が圓母平愛財団を中心に、10 年以上、二世・三世圏に投入された真の愛が、2025 神韓国青年総会と成和総会で実を結んでいる。統一家の未来を導いていく世代が準備されているこの時、40 歳以上の二世圏が教会の中核として心強い支えとなり、世代間の和合と協力に努めてほしい」と促した。続いて「Holy Mother Han」真のお母様を中心に、二世と三世が一つとなり、愛と心情の美しい共同体を成し、統一家の新しいビジョンを作っていく」と伝え、二世の集いが、13 地域の教区を越えて 250 カ所の教会に拡大していくことを祝願した。

同日の談会では、イ・ジュン伝道局長の司会で、開会宣言、家庭盟誓、チョン・ソンミン慶南教区二世会長の報告祈祷、出席者紹介、キム・ヨンソク副協会长の経過

報告、任命状授与、皇甫國協会长の講話と祝祷、孝情談会、質疑応答の順で行われた。

キム・ヨンソク副協会长は経過報告で「二世圏活性化のために、50 代以上の神韓国協会と摂理機関の公職者を中心に、数回にわたり準備集会を行い、意見収斂などの過程を経て、今日、教区の二世圏活性化のための責任者を任命することになった」と明らかにし、二世家庭会、大邱圏希苑会 5 期集会などを紹介し、二世圏を通じた未来ビジョンを提示した。

続いて、談会を通じて各地域の二世圏の信仰と心情的状況および集会の現況を共有し、教区の二世会長の提言を傾聴する時間を持った。特に、天苑宮天一聖殿特別恩赦の聖酒式に二世圏が共に参加し、本然の場で天の父母様が開いてくださる、新しい時代を迎えることと、40 歳以上の二世圏の精誠を集めて天一聖殿入宮の恩賜に感謝する贈り物を奉献しようと決意した。✚



2025 孝情文化芸術 ユースキャンプ閉会式



2025 孝情文化芸術ユースキャンプの閉会式が1月15日(陽 2.12)、92人の修練生が参加する中で孝情文和苑で開催された。

「全世界に花咲かせる韓の歌、孝情を尽くすピュアウォーター」をテーマに行われたこの日の行事で、鄭元周(チョン・

ウォンジュ)天務院副院長は、真のお母様のみ旨を明らかにし、韓民族選民大叙事詩と天苑宮天一聖殿についての真のお母様の構想、企画過程を説明した。その後、修練生たちに修了証および下賜品を渡し、40日間の労苦を激励した。

孝情文和苑のチェ・ヒョンソク副院長

は経過報告で、キャンプ期間中の全体的日程を振り返り、修練生たちが見せた情熱と献身について深い感謝を示した。

修練生たちは感想発表を通じて、残り60日間、さらに精誠を尽くして天上の舞台を奉獻することを決意し、行事は終了した。🌀

第1回孝情天心天寶靈性モシム 40日修練会開会式



第1回孝情天心天寶靈性モシム 40日修練会の開会式が、天曆1月15日(陽 2.12)、天城旺臨宮殿で行われた。今回のモシム 40日修練会は、修練生たちが天の父母様に向けた深い愛と感謝を込めて、孝情の心情で靈的成熟を成し遂げるための場として設け



られた。

鄭元周 天務院副院長はこの日の祝辞で「天の父母様を直接お迎えすることのできる天一聖殿を精誠で準備している。皆さんが感謝の思いで臨むことを願う」と述べた。

李基誠(イ・ギソン)天心苑長は、

靈界から受け取ったメッセージを共有し「感謝の思いで侍る人生を實踐していく修練生となることを願う」と激励した。

修練生たちは開会式と共に天の前に新しい決意を固めながら、モシム修練会の40日路程を出発した。🌀

天苑宮・天一聖殿入宮式勝利のための 韓国キリスト教聖職者協議会祈祷会および超宗教祈祷会



韓国宗教協議会は、天苑宮天一聖殿入宮式勝利を祈願し、キリスト教聖職者たちを招待した、韓国キリスト教聖職者協議会 (KCLC) 祈祷会と、主要な宗教指導者たちが共に参加した世界平和宗教人連合 (IAPD) 超宗教祈祷会を、2月18日、19日の両日にわたって開催した。

18日、KCLC 祈祷会でキム・ソクジ



ン教区長は、天苑宮天一聖殿入宮式の意味を説教を通して明らかにした。また、ヘヌリ教会のシン・ホ Chol 担任牧師は、「国の危機に対する指導者の姿勢」というテーマで主題講義を行った。

19日、超宗教祈祷会では、韓国宗教界を代表した仏教、民族宗教、天道教、イスラム教など7つの教団の聖職者が



参加して、合心ろうそくを点火し、平和の灯火に火を灯した。

各教団の聖職者たちは、祈祷を捧げる方法は違っても、「すべての宗教が進む道は、一つの道」であるという、真のお母様のみ言に同感し、平和と統一のために心を一つにすることを決意した。✚

2025 神統一韓国論 講師教育研鑽会



2025 神統一韓国論 講師教育研鑽会が、天曆1月20日(陽2.17)、キリスト教7大教団の総会長をはじめ、仏教、儒教、民族宗教など、160人余りの宗教指導者が参加する中、家庭連合本部で開催された。

この日、秦成培(チン・ソンベ)孝情国際研修院院長は、「韓民族宗教人聖会」の発起に向けた、連帯の重要性



を強調した。

続いて、イ・ジョンテク 礼装合同改革総会長とボゴム僧侶が祝辞を通じて、統一と平和に向けた協力を呼びかけた。

皇甫國(ファン・ボグク)神韓国協会長は、韓民族選民大叙事詩の特別講義を通じて、韓民族の歴史的使命と、真の父母様の顕現について説明し、天の父母様に侍る、信仰人の姿勢について力説した。

午後には、日本の宣教師たちと韓国の講師たちによる、「神統一韓国論」の講義が行われ、参加者は深い共感と感動を共に分かち合った。

最後に、秦成培院長は、3・1節の行事で、「韓民族宗教人聖会」が、公式に発足することを知らせ、神統一韓国の理念を実践していく指導者代表たちに、修了証を授与した。✚

神統一韓国のための対国民教育大盛況 平和と統一のための国民的共感帯を形成



①

神統一韓国のための対国民教育が「神様が守られる、大韓民国万歳」をテーマに、平和と統一のための国民的共感の輪をつくり、全国的に盛況の内に展開されている。

皇甫國神韓国協会長は1月21日、九里市報勲郷軍会館で九里市長、九里市議会議長、国会議員補佐官など主要指導者たちと200余名の市民が参加した「九里市対国民教育」で韓民族が持ってきた文化の優秀性と、危機を克服する強靱な精神力と選民の役割を強調した後、「天の父母様の下人類一家族」の理念と共に、4月に予定されている天苑宮入宮式のビジョンを紹介した。

また、「対国民教育善山大会」が1月19日、キリスト教・家庭連合の連合礼拝の形で開かれ

た。この日、招請講師として登壇した、李現榮（イ・ヒョニョン）韓国宗教協議会会長は、講演を通じて「この世のすべての宗教が進む道は一つの道であり、神様に侍り、善をを広めていくことが宗教の本質」であることを呼びかけた。

神統一韓国のための対国民教育は、3月末まで、韓民族選民大叙事詩の内容を盛り込んだ「神様が守られる、大韓民国万歳」をテーマにした講演で、全国的に展開される予定である。

一方、2月22日、23日には水原、清州で、皇甫國神韓国協会長主管の対国民教育が盛況裏に開催された。🇵🇸



②

①九里市対国民教育 ②水原市対国民教育 ③清州市対国民教育

③



일시 : 2025년 2월 22일

장소 : 청주 통일회관 7층

2025. 3. 23

カナダ UPF、 世界宗教和合週間の記念行事開催

カナダ UPF は、国連の「世界宗教和合週間」を迎え、天暦 12 月 27 日 (陽暦 1 月 26 日)、モントリオールで、宗教・市民社会の指導者と UPF 会員など約 40 人が参加する中、「世界の平和構築のための宗教指導者の役割」をテーマに記念昼食会を開催した。

チャンタルレ・ビアウ UPF カナダ会長の司会で行われたこの日の行事で、カナダ UPF 会長のフランコ・ファムラオ博士は、創立以来数十年にわたり宗教的和合を促進させるために努力してきた UPF の理念について概要を説明した。

社会評論番組を担当してきたカナダの有名な元ラジオ司会者であるエリック・ル・レスト氏は、「霊性は単なる信仰にとどまらず、自身の行動によってその信仰を示すべきである」と述べ、これを通じて人生の知恵を得ることができると強調した。

続いて 2 人のパネリストがコメントした。カナダエ

キュメニズムセンターのデニチャ・ツベコバ博士は、「外的平和の前提条件としての内的平和」、「宗教間の対話のための勇気」、「宗教の世俗化に伴う宗教表現の問題」などに言及し、宗教指導者の社会的役割を強調した。ケベックシティ・モスクの共同創立者であるブフェルザ・ベナブダラ会長は、「UPF が主張する普遍的な価値と原則は、信仰共同体の指導者たちが支持すべきものである」と述べた。

ケベック州議会のアンドレ・モラン議員は、全体セッションで「宗教間の調和と平和の価値を支持する」と激励のメッセージを伝えた。

一方、同日バンクーバーでは平和大使の月例会議が開かれ、環境保護と UPF 関連の活動事項が紹介された。この会議で、ナイジェリア UPF のチジオケ・イフィアンカマ平和大使は、平和運動についての報告を共有し、拍手喝采を浴びた。✍

①発表および討論をする参加者たち ②カナダ・モントリオール記念行事 ③参加者たちの記念撮影 ④カナダ・バンクーバー記念行事



カナダ孝情家族祝祭及び 真の父母論 2 日修練会

カナダ世界平和統一家庭連合と世界平和華人連合が共同主催した「カナダ孝情家族祝祭」が、孝情と家族の価値を再認識する場として、中国の旧正月にちなんで天暦 1 月 5 日（陽暦 2 月 2 日）にトロントのダウンズビューで開催された。

この日の祝祭では、伝統工芸、お茶の試飲会、ゲームなど、家族が交流できる様々なプログラムが用意された。特に「親との美しい時間」をテーマにした孝作文大会が開催され、参加者は両親との思い出を思い出しながら文章を綴り、孝の意味を再認識した。

この日の行事は、人と人をつなぐ文化祝祭として、孝の重要性を再認識する意義深い場となった。

カナダの真の父母論 2 日修練会が、天暦 1 月 11 日から 12 日（陽暦 2 月 8 日～9 日）の二日間、アルバータ州カムローズで開催された。修練会は、オンラインのズームによる参加者も多く盛況となった。カンバシ・カツミ博士による「真の父母様の心情」、「独り娘の意味」などのテーマの 9 講座が行われた。講義を通じて参加者たちは、真の父母様の愛と位相をより深く理解する時間となった。また、真のお母様の顕現が持つ歴史的、摂理的な意味を再認識し、「真のお母様が『ピュアウォーターのオモニ』として摂理歴史的な意味を持たれることに深い感銘を受けた。」という感想も伝えられた。

①孝作文大会 ②真の父母論教育後の記念撮影 ③孝情家族フェスティバルに参加した食口たちが記念撮影をしている。



③



神アメリカ、 真の父母様ご聖誕記念孝情ヌリ

真の父母様ご聖誕記念サンフランシスコ孝情ヌリ礼拝が、天暦 1 月 12 日 (陽暦 2 月 9 日)、サンフランシスコ・ベイエリア家庭教会で行われた。

賛美で始まったこの日の礼拝は、世代間の和動と交流、新年の目標を共有する時間へと続いた。礼拝の説教者となった 2 世成和学生のカミオカ・ユウキ君は、「感謝」と「現在を生きる」をテーマにメッセージを伝えた。

食口たちは真の父母様の聖誕を祝賀し、音楽公演、

K-POP ダンスなどの祝賀公演を披露した。また、小中学生が真の父母様のためにダンスを披露したプログラムでは、天の父母様の愛の下で一つになる時間が持たれた。最後に行われた世代間クイズゲーム「Kahoot(カフート)」では、優勝者に所定の賞金が渡された。

一方、同日の真の父母様ご聖誕記念礼拝は、約 250 人が参加する中、ロサンゼルス所在の家庭教会で行われた。食口たちは賛美と和動など多彩なプログラムに参加し、祝福家庭共同体の意味を再認識した。🎵

① 神アメリカ孝情ヌリの様子
② 孝童の子供達の誕生日パーティー
③ ダンス公演 ④ 歌の公演



神ヨーロッパ・中東、真の父母様ご聖誕及び 天一国基元節 12 周年記念式



神ヨーロッパ・中東で天暦 1 月 6 日 (陽暦 2 月 3 日)、「真の父母様ご聖誕及び天一国基元節 12 周年記念式」が開催された。

今回の行事は、天地人真の父母様の愛とビジョンに感謝を捧げ、過去の過ちを悔い改め、食口同士の絆を深める場となった。

集まった食口たちはこの日の記念式を通じて、共同体を導いていく使命と目的を再確認し、霊的復興の摂理に献身することを誓った。🌀

イタリア、 国家指導者会議及び青年会ワークショップ

イタリア国家指導者会議が、天暦 12 月 7 日 (陽暦 1 月 6 日)、主要指導者 25 人が参加する中、ベルガモで開かれた。参加者たちは、これまでの成果と課題について議論し、各自の役割を考慮しながら進むべき方向を模索した。また、霊的な絆を深める合同祈祷、共同体の使命遂行と一体化促進のための模範事例の共有、新しいアイデアの議論も行われた。

一方、イタリアの「摂理復帰のための青年会 (YARP)」冬季ワークショップが、天暦 12 月 3 日 (陽暦 1 月 2 日)、



16 人の若者が参加する中、「愛、感謝、赦し、一体化で生まれ変わる」をテーマに開かれた。

コレ・マティアで行われたこの日のワークショップは、真のお母様の心情を相続し、現在進行中の摂理により近



づくことを目標に行われた。参加者たちは、日常生活の中で摂理的価値のために実践し、共同体のより大きな使命に貢献する方法を深く探求し、真のお母様のビジョンにもっと献身していくことを誓った。🌀

イスラエル、テュルキエ、レバノンの 伝道・祝福・教育活動

神ヨーロッパ中東大陸の中東地域では、様々な機関の主催による伝道・祝福・教育活動が多彩に展開されている。

イスラエル家庭連合は、エルサレム HJ センターを中心に真の父母様を証詞しながら伝道活動を行っている。特に天寶特別修練会を通じて深い霊的体験の機会を提供する一方、祝福家庭の所を訪問して共に祈り、癒しと希望を伝えている。

テュルキエ天宙平和連合 (UPF) は「文明連合」をテーマに、第3回平和大使月例フォーラムを開催した。

このフォーラムでは、平和大使のペザ・バサル博士とヤマザキ・ヨシヒロ理事が、真の父母様の教えを基盤とした頭翼思想と平和実現のための女性の役割について説明した。

レバノン家庭連合は、真の父母様の生涯路程と真の父母論で、新規食口のための孝情リーダーシップ教育を持続的に実施している。毎週新規入会者が参加しており、真のお母様の新しい教えが共有されている。参加者たちはこれらの教育に感動し、恩恵ある感想の発表が続いている。

それとともに、恵まれない人を助けるための人道主



①② イスラエル天寶特別修練会、伝道活動
③テュルキエ UPF 主催第3回平和大使月例フォーラム
④レバノン孝情リーダーシップ教育 ⑤レバノン水筒寄付緊急支援

義的活動として、大量のペットボトルを寄付してもらい、緊急支援が必要なところに届けている。

また、世界頂上会議の準備の一環として、元国家元首、国会議員、宗教指導者、その他中東の著名な高位人士に対する渉外活動も行われている。✚



チェコ家庭連合、 「真の父母論」 3日修練会



①記念撮影をしている、チェコの「真の父母論」3日修練生たち ②講義後、質問をしている修練生

チェコ世界平和統一家庭連合は、天暦1月17日から19日まで(陽2.14~16)、「真の父母論」3日修練会を開催した。プラハで開かれた今回の修練会には、スロバキアとチェコから来た70人が参加した。

修練会は講師たちが1ヶ月以上資料

を準備し、精誠を捧げた基盤の上に実施され、真のお母様が、神様のみ旨を成し遂げる独り娘であることを強調し、信仰的理解をより一層深める場として設けられた。

参加者たちは今回の修練会を通じて、

心からの祈禱と讃美で深い感動の時間を持った。また、講師と参加者間の質疑応答を通じて、新しいインスピレーションを受け、より一層強固な信仰的決心と共同体の結束を成すことにより、祝福家庭の使命を深く理解する時間となった。✚

神ヨーロッパ、CARPとHARPの伝道復興



①講義を聞いている学生たち ②③会合を持ったHARP、CARP会員たち

中央ヨーロッパ諸国で、CARPとHARPの復興が行われている。

ハンガリーのブダペストでは、CARP会員たちが定期的に集まり、講義のために練習し、天の摂理に対する理解を土台に伝道準備をしている。

特にチェコのプラハとスロバキアでは、CARPとHARPが合同会合を開き、会員数が増加する喜びを分かち合った。

スロベニアではこの1年間、CARP会員と青年の集いを通じて内部の結束を固め、友人と同僚を対象にアウトリ

ーチ活動を拡大している。

このような活動を通じて、中央ヨーロッパでは、CARPとHARPの影響力が広がっており、伝道の機会が増えるにつれ、信仰的団結がさらに強化されている。✚

フィリピン、 青年指導者訓練アジア太平洋 3 日修練会

2025 年 1 月 27 日から 1 月 29 日まで、フィリピンで、青年指導者訓練 (YLT) アジア太平洋 3 日修練会が開催された。アジア太平洋青年指導者訓練 地域特別チームのメンバー 4 人は、3 ヶ月 11 日間 (2024.10.14 ~ 2025.1.26)、カンボジア、香港、マカオ、シンガポール、マレーシア、ブルネイでの宣教活動を終えてフィリピンに帰国し、今回の修練会に参加した。

青年指導者たちは、初めての海外宣教で困難もあったが、天苑宮天一聖殿入宮式と真のお母様にお会いするための韓国訪問を準備し、天の父母様と真の父母様に実績と喜びを捧げることを決意した。

初日は、堀正一アジア太平洋会長と会って宣教報告と証詞を伝え、夕方に国際平和指導者大学 (IPLC) で天心苑祈祷会に参加した。二日目は、聖地で早朝敬礼を捧げ、夕方はアジア宣教の心情共有と次期宣教に対する決意の時間を持った。最終日は、「青年期をエキサイティングな目標に捧げよ」というレオ・アンジェロ・ハログ協会長の特別講義と、天心苑祈祷会で日程を終えた。

特別チームのメンバーである、ジョシュア・マキシフ・オックは、「初めての海外宣教で、恐れもあったが、諦めずに指導者たちと一緒に活動し、真の父母様の心情を体験できたことをうれしく思う。」と述べた。また別のメンバーのニコル・モンデザは、「4 月 13 日の天苑宮天一聖殿入宮式に参加することを願い、ビザの申請準備をしている。」と伝え、ザンヤ・アウチャニチャイは「英語が不得手ではあったが、神様が足りない自分を通して宣教活動の奇跡を起こしてくださった。」と証詞した。✝

①～⑤ 青年指導者訓練に参加したカンボジア、香港、マカオ、シンガポール、マレーシア、ブルネイの宣教師たち



神アジア太平洋、第 21 回太平洋聖職者 協議会オンラインフェローシップ開催



太平洋聖職者協議会 (PCLC) は 2025 年 1 月 28 日、「神様の王国は家庭の王国」というテーマで第 21 回オンライン月例フェローシップを開催した。

今回のフェローシップは、太平洋聖職者協議会が、天一国 13 年を迎え、真のお母様のビジョンを実現し、キリスト教一体化と、天の父母様の夢を実現させることを決意する場として設けられた。

18 カ国から 774 人がオンラインで参加する中で実施された今回の行事は、エリアス・ソリア大司教の開会宣言、アニュス・デイ聖歌隊の賛美、ラニエラ・ペネ牧師の開会祈祷、堀正一神アジア太平洋大陸会長による歓迎の挨拶などの順に行われた。

続いて、基調講演者のジェフリー・ファイアーズ牧師が「神様の青写真」として 3 大祝福について発表し、マーガレット・シーザーソン牧師は、家庭内の 4 大心情圏と結婚が神の理想を実現するためにいかに重要であるかを強調した。シドニー青年聖歌隊の賛美のあと、インドネシア青年牧会者共同体の共同設立者であるメイラニ・リサマス牧師の率直な証しへと続いた。ラウル・バルセラとグレゴリー・ストーン事務総長は、とりなしの祈りを通して霊的な雰囲気を高めた。

最後はロバート・キttl共同議長の閉会の辞とトゥントウンウ牧師の賛美で締めくくられた。



①「神の王国は家庭の王国」をテーマに開かれたオンラインフェローシップ

②シドニー青年聖歌隊の賛美 ③オンライン月例フェローシップに参加した太平洋聖職者たち

ネパール家庭連合、 40 日孝情青年指導者修練会修了式



①②孝情青年指導者たちに授与証を授与しているエクナット・ダカール会長 ③ 40 日修練会を終えたネパール青年指導者たちが記念撮影をしている。

ネパール家庭連合主催による、40 日孝情青年指導者修練会の修了式が、「青年指導者養成、国家の未来形成」をテーマに、カトマンズセンターで、1 月 29 日に開催された。

修了式は、エクナット・ダカール UPF アジア太平洋会長、ビノード・ダンギ天寶家庭・元老指導者、サントシ・クマール・パウデル 南アジア副会長、プラカシ・バブ・タパ協会会長など、主要指導者が出席する中で行われた。

エクナット・ダカール会長は、青年指導者たちに「より高いレベルの訓練を続けていく、グローバルリーダーとして成長してほしい」と激励した。

ビノード・ダンギ牧師は「青年たちが国の発展と天の父母様、真の父母様の摂理の希望にならなければならない。」とその責任を強調し、プラカシ・タパ協会会長は「世

の中を抱き、真の父母様のメッセージを広めるピュアウォーターにならなければならない。」と伝え、摂理を率いて行く、真のリーダーになることを祝願した。

今回の 40 日修練の過程は、ルプシン・バンダリ院長の指導の下、10 人の青年たちが原理講義、奉仕活動、伝道活動を通じて指導者としての力量を強化し、天の父母様と真の父母様の心情とつながれるようにするチャレンジプログラムとして行われた。

参加者たちは、40 日過程の難しさと霊的成長についての証詞を共有した。ある参加者は「信仰が奇跡を起こす。最前線の使命を続けたい。」と決意を表明した。

修了式は 2025 年の青年指導者養成のための希望と決意を固めるバンダリ院長の先唱による億万歳三唱で締めくくられた。✠

国連「世界宗教和合週間」を記念し、 グローバルな宗教間の対話と協力の場を開く

インド UPF は、マタ・スンドリ大学の平和クラブと協力し、国連「世界宗教和合週間」を記念して、2月6日に、各大学で宣布大会を開催した。マタ・スンドリ大学の大会には、学生と来賓をあわせた 100 人以上が参加し盛況となった。

デリー大学では、12 の単科大学から 22 人の学生が宗教和合と世界平和のための宗教の役割について意見を共有し、参加者たちは、テーマに対する深い理解に基づいて雄弁に語り、ユニークな観点を提示した。

クリシュナ・アディカリ インド UPF 事務総長は、UPF のグローバル宗教間活動についての発表で、インド UPF の活動を紹介し、全国的な平和クラブ活動が展開されていることを強調した。

続いて優勝者に対する賞金と証書の授与式が行われ、主宰者のモイトリ・デイ博士が主催した感謝投票で締めくくられた。今回のイベントを通じて、青年たちが宗教間の和合をテーマに、対話し理解する場が設けられ、協力体制が構築された。

ネパール UPF は、世界平和宗教人連合 (IAPD) と共同主催で、2月9日、カトマンズで、国連「世界宗教和合週間」を記念して、宗教人朝食会を開催した。平和と発展のための特別プログラムとして行われたこの日の朝食会には、24 人の著名な宗教指導者と、様々な宗教団体の代表が参加し、宗教間の和合と相互理解を通じて、世界平和増進のための努力に同参する意向を表明した。✍



①～④インドのマタスンドリー大学、デリー大学など各大学で国連世界宗教和合週間を記念して宣布大会を行っている。

④



神南米、 第 100 回天心苑徹夜精誠

ブラジル協会を中心に毎週金曜日に行われている、神南米大陸 徹夜精誠が、天暦 1 月 10 日 (陽暦 2 月 7 日) に 100 回目を迎えた。神南米大陸徹夜精誠は、ブラジル協会本部とオンラインでの参加となっている。

この日の徹夜精誠は、ライブ中継で参加した賛美役事のあと、神南米天心苑 徹夜精誠 100 回の歴史を振り返る特別映像が上映された。続いて、神南米 1 地区のブラジル協会長夫妻による花束奉呈と、主要指導者たちによるケーキカットで 100 回目の記念日を祝った。

また、神南米の地区長たちの祝賀映像に続き、金成南 (キム・ソンナム) 分苑長から、今後の神南米天心苑摂理について説明があった。神南米のピュアウオー

ターである未来世代の青年たちも、特別賛美と天心苑の恩恵の証詞を伝え、第 100 回徹夜精誠をさらに充実させた。

金東宇 (キム・ドンウ) 神南米大陸会長はメッセージの中で、「第 100 回を迎えた徹夜精誠を各国に拡散させて毎日行う計画」であることを伝え、「天心苑精誠を中心に、子女の道理を果たす神南米になろう」と強調した。続いて、世界連合礼拝のときに、新たにくださった祈禱文を中心に「天の母の摂理」を説明した。

神南米大陸の食口は、全体で天と共鳴して一つになることを祈り、天苑宮入宮式まで全力投球することを決意した。✠



①神南米の主要指導者たちのケーキカット ②讃美役事の様子



ドミニカ共和国既成祝福式開催



①



②

神中米5地区ドミニカ共和国で、天暦1月1日(陽暦1月29日)、「天の父母様と真の父母様の祝福を世界へ拡大」というテーマで、27組の夫婦が参加する中、バヤグアナ地域のカルデナル・サンチャ

小学校で、既成祝福式が開催された。

この日の祝福式は、神氏族メシヤ活動の一環として行われ、教師と校長を含む総勢60名が参加した。祝福式は、主礼入場、聖水儀式、聖婚問答、指輪

①②ドミニカ共和国の既成祝福式に参加した新郎新婦たち

交換、聖婚宣布、新郎新婦の挨拶などの順で行われ、ケニア校長の祝辞で祝福式を終えた。🔗

ペルー UPF、平和のための超宗教対話の場



①



②



③



④

①②ペルーとコロンビアの宗教指導者たち ③宗教和合と平和のための儀式 ④各宗教指導者たちが記念撮影をしている。

神南米3地区ペルー UPF 主催による超宗教行事が、天暦1月9日(陽暦2月6日)、国連「世界宗教和合週間」を迎え、神の下での平和のための兄弟愛と宗教間の対話」というテーマで開催された。こ

の行事はペルーとコロンビアの宗教指導者たちも参加する意義深い場となった。

この日、世界平和宗教人連合(IAPD)ペルー会長のイエス・マヌエル・メヒア・キロス司教をはじめ、10の教派

の指導者たちは、世界平和に向けた各自の役割と協力案について議論した。

平和のための超宗教行事は宗教間の対話だけでなく、世界平和のために協力する場となった。🔗

神南米孝情郎卒業及び出征礼拝、 2 世祝福のための教育

神南米・孝情郎 (ヒョジョンラン) 第 13 期卒業及び第 15 期出征礼拝が、1 月 26 日、ブラジル協会本部を中心に神南米大陸で行われた。孝情郎は、神南米大陸のピュアウォーター 7 年教育課程の一つで、高等教育を終えてから 2 年間献身して、信仰の基盤を固め、価値観を確立する期間である。

今回の礼拝では、第 13 期の孝情郎 15 人が卒業し、新たに献身を決意した第 15 期が出征することになった。卒業生の一人は、孝情郎の過程を通じて「習慣や日常全体を天に一致させ、本心を中心として生きられるよう訓練することができた。」と述べ、指導者や支えてくれた両親に対する感謝の思いを語った。続いて父兄代表は「天の父母様、真の父母様の希望として、しっかり育ててくれてありがとう」と卒業生を激励した。孝情郎の青年たちは卒業後、大学に進学して CARP 課程を歩むか、社会に出て信仰を続けていくことになる。

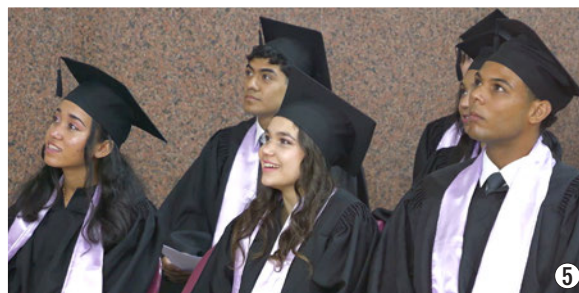
2025 年の祝福式を控え、ブラジル協会本部を中心に、2 世祝福のための教育が、1 月に 3 回 (11 日 -12 日、



21 日、25 日 -26 日) にわたってオンラインで行われた。

1 月 11 日からの 2 日間は、真の父母様の生涯路程教育、25 日からの 2 日間は、祝福の価値と意義、2 世のアイデンティティと公的生活の重要性についての教育が実施された。2 回の教育によって、2 世たちはアイデンティティを正しく確立させ、祝福を通じて真の祝福家庭になることを決意した。

また、1 月 21 日は、2025 祝福式の説明と子女祝福準備の活性化のための父母説明会がオンラインで開催された。144 人の指導者と親が参加し、祝福式までの残りの期間、マッチングと婚約に注力することを誓った。✂



① 祝福を捧げている佐々木幸一ブラジル協会長 ② 激励しているサムエル・オタリンナレス副協会長 ③ 経過報告をしているエンヒケ・ディサ孝情アカデミー団長 ④ 祝賀公演 ⑤ 神南米孝情郎 13 期の卒業生たち



ナイジェリア、青年祝福ワークショップ



①②ナイジェリアの若者たちが祝福のためにワークショップに参加している

2025年4月に举行される天宙祝福式の参加者募集のための青年祝福ワークショップが、天暦12月22日から23日(陽暦1月21日～22日)まで、ナイジェリアで開催された。今回のワークショップは、世界平和宗教人連合(IAPD)の議長であるジョン・オコリコ博士が設立したソリッドロックキングダム教会で行われた。この青年祝福ワークショップは、世

界平和宗教人連合のジョージ・オグリエ地域コーディネーター兼地区長が講義を担当し、参加者は真の父母様のみ言と祝福の意味について学んだ。

オコリコ博士は閉会の辞で、今回のワークショップを「長年の夢の実現」と表現し、1980年代の南北アメリカ統一連合(CAUSA)から始まって、祝福を受けるまでに至ったいきさつを語った。

また、韓国で大規模な祝福式が行われたように、ナイジェリアのアクワ・イボム州でもスタジアムが埋まるくらいの人が集まって祝福式が開催されるようにと希望した。

ワークショップを通じて、参加者たちは青年の結婚観について話し合う時間を持ち、その後92人が7日修練会に参加申し込みをした。✚

コートジボワール、第3回青年日曜礼拝



第3回青年日曜礼拝が、1月26日、「天一聖殿入宮のための鍵」をテーマに、コートジボワールのアビジャン孝情聖殿で行われた。2世祝福家庭のトレバー・クアメリーダーは、感動的な説教の中で、真の父母様が天苑宮天一聖殿入宮のために下さった指針を伝えた。その後、参加者たちは、天の父母様のためのファッションショー、ものまねマイムゲームなどのレクリエーションや、その他プログラムに参加し、楽しく有意義な時間を過ごした。✚

①～③コートジボワールのアビジャン聖殿で開催された青年日曜礼拝



“

創造主・天の父母様に、実体で侍って生きる、天一国13年。
全世界の祝福家庭は、真の父母様と一つになった選民として、
責任を果たす天一国の真の子女になろう。

”

